

完了後の評価個表

整理番号	4-1
------	-----

事業名	森林居住環境整備事業	都道府県	福岡県
ふりがな 地域(地区)名	そえだ 添田	事業実施主体	福岡県
関係市町村	添田町、赤村	管理主体	添田町、赤村
事業実施期間	平成18年度～平成22年度（5年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 本地区は、福岡県の南東部に位置し、英彦山系の山々を境に東は京都郡みやこ町、南は大分県日田市等と接しており、これらの山々から流下する清流は、中央部を彦山川、東側に今川（油木ダム）、西側に中元寺川（陣屋ダム）が貫流しており、下流域（筑豊地域、北九州市）への水を供給する水源地となっている。</p> <p>② 森林の状況 本地区の森林面積11,046haのうち、民有林面積は10,188haで、そのうち人工林面積は8,726ha（人口林率86%）である。また、人工林のうち間伐等の森林整備が必要となるⅢ齢級からⅧ齢級の森林は2,417haで、人工林面積の28%を占めている。 また、地区内の森林のうち、5,545haが水源かん養保安林、土砂流出防備保安林等の保安林に指定されており、森林の公益的機能を高度に発揮させるための適切な森林整備の実施が期待されている。</p> <p>③ 本地区を整備する目的・意義 本地区においてこれまでに8,726haの人工林が造成され、森林の蓄積は着実に増加しており、除・間伐等の適切な森林整備を必要としていた。 しかしながら、本地区には森林整備や木材利用を効率的に実施するための基幹となる林道等の路網が未整備であったことから、適切な森林整備が遅れている状況になっていた。 このため、木材生産や森林整備の低コスト化を図り、森林整備を促進することを目的として、林道の整備を実施した。</p> <p>(事業概要) 林道整備（森林基幹道） ① 弓張岳線 車道幅員 4.0m 開設延長 2,474m 利用区域面積 614ha ② 豊前坊線 車道幅員 4.0m 開設延長 2,285m 利用区域面積 902ha</p> <p>総事業費 1,785,300千円 （当初総事業費 1,222,000千円）</p>
----------	--

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成28年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益（B）</td> <td>3,809,725千円</td> <td>（事業採択時 2,408,255千円）</td> </tr> <tr> <td>総費用（C）</td> <td>2,616,102千円</td> <td>（事業採択時 1,456,793千円）</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B/C）</td> <td>1.46</td> <td>（事業採択時 1.65）</td> </tr> </table>	総便益（B）	3,809,725千円	（事業採択時 2,408,255千円）	総費用（C）	2,616,102千円	（事業採択時 1,456,793千円）	分析結果（B/C）	1.46	（事業採択時 1.65）
総便益（B）	3,809,725千円	（事業採択時 2,408,255千円）								
総費用（C）	2,616,102千円	（事業採択時 1,456,793千円）								
分析結果（B/C）	1.46	（事業採択時 1.65）								
② 事業効果の発現状況	<p>林道整備により、森林整備施業地までのアクセス時間の短縮や作業コストの低減が図られ、林道整備前5年間の森林整備面積約55.5haに対し、事業完了後の5年間では約243.2haに増加するなど、森林所有者の森林施業に対する意欲が向上している。</p>									
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>本事業により整備された林道は、添田町及び赤村が定めた林道維持管理規程に基づき適切に管理されており、良好な維持管理状況にある。</p>									
④ 事業実施による環境の変化	<p>林道整備により、森林施業地までのアクセス時間が短縮され、林業従事者の労働条件の改善や森林整備コストの低減が図られている。 森林組合による間伐・主伐等の実施面積が林道の整備前と比較すると、約4倍に増加するなど、森林施業の実施に対する意欲が向上してきている。 なお、林道整備による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。</p>									
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>福岡県では、平成20年度から森林環境税事業が開始され、荒廃した人工林の整備促進が図られていることから、林道の整備による高性能林業機械の導入や搬出コストの低減などにより、林業生産性の向上、増加する間伐材の利用促進を図っている。 また、森林への立ち入りやすくなったことから、町民の森林レクリエーションに対する需要にも寄与している。</p>									

<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林整備に対する森林所有者の意欲が徐々に向上しているものの、木材価格の低迷等により、未だ森林整備は十分とはいえない状況にある。今後、さらに林内路網の整備や施業の集約化、高性能林業機械の導入等による林業生産性の向上を図り、森林整備を推進していく必要がある。</p> <p>また、事業により整備された施設については、引き続き適切な維持管理を行っていく必要がある。</p> <p>(地元の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 路網整備により適切な森林整備が実施され、水源涵養^{かんよう}や山地災害防止等の公益的機能が増進されるとともに、木材の安定供給にも寄与している。(福岡県) ・ 本事業の実施により路網整備の推進が図られている。今後はさらなる路網整備により間伐やその搬出を促進し、森林組合等を中心とした木材の生産・流通体制の確立を図り、地域の活性化につなげていく必要がある。(添田町)
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 森林施業を効率的に行う基盤となる路網整備や、森林とのふれあい機会の提供を通じた都市住民との交流の促進が求められていたことから、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 現地条件に応じた工種・工法が採用されるとともに、事業実施に当たっても切盛土量の抑制等コスト縮減に努めていることから、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 林道整備により、森林へのアクセスが容易となり、作業効率が向上し、森林整備や木材生産が促進され、今後も一層の効果の発現が期待されており、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

事業名：森林居住環境整備事業

都道府県名：福岡県

地域(地区)名：^{そえだ}添田

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	20,641	
	木材利用増進便益	45,203	
	木材生産確保・増進便益	313,501	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	598	
	森林管理等経費縮減便益	325	
	森林整備促進便益	3,194,520	
森林の総合利用便益	ふれあい機会創出便益	26,912	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	181,282	
維持管理費縮減便益		26,743	
総 便 益 (B)		3,809,725	
総 費 用 (C)		2,616,102	
費用便益比	$B \div C = \frac{3,809,725}{2,616,102} = 1.46$		

(注)便益額算定方法は、代表路線を表示しています。

森林居住環境整備事業 添田地区(福岡県)概要図



添田町役場

アクセス林道 吉祥寺線

① 森林基幹道 弓張岳線
L=8,851m

アクセス道 町道大峰・田代線

② 森林基幹道 豊前坊線
L=10,654m

国道500号線

耶馬日田英彦山国定公園

凡例	
市町村界	———
添田地区	———
利用区域	———
林道線形	———

1: 50,000
1000m 500 0 1000 2000 3000

①	森林基幹道 弓張岳線
②	森林基幹道 豊前坊線